



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月2日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

TEL 075-361-0381

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,858	18.9	544	25.3	520	18.7	425	8.6
2024年3月期第1四半期	3,244	13.8	434	116.0	438	82.8	392	90.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 437百万円 (10.4%) 2024年3月期第1四半期 395百万円 (97.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	94.27	
2024年3月期第1四半期	85.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	10,269	5,381	52.3	1,192.16
2024年3月期	9,876	5,055	51.2	1,113.78

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,374百万円 2024年3月期 5,055百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		20.00	20.00
2025年3月期(予想)		15.00		17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	8.4	450	3.5	500	2.3	350	35.8	77.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1 社 (社名) セブシステム株式会社、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	4,774,719 株	2024年3月期	4,774,719 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	266,565 株	2024年3月期	235,641 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	4,515,891 株	2024年3月期1Q	4,586,227 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7
(企業結合等関係) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の上昇、為替相場の円安の進行、物価の上昇、地政学的リスクの高まり等複合的な不確実性はあるものの、企業業績と雇用・所得環境の改善から、個人消費の回復も見られ、景気は緩やかな回復基調にあります。

服飾雑貨業界におきましても、継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、個人消費が堅調に推移し、旺盛なインバウンド需要にも支えられ、百貨店・専門店を中心とした各販路の販売は好調に推移し、市況は回復傾向にあります。

このような経営環境の下、当社グループは2024年5月に「中期経営計画」を策定し、成長戦略として、「専門店マーケットへの商品開発及びマーケティングの強化」、「直営店・小売事業の拡大に向けた新たな店舗戦略の展開」、「Eコマース事業の更なる拡大」、「国内外の新規販路開拓」の4つの施策を掲げ、その前提として、自社ブランドの育成・確立、人材投資の積極化による採算性、生産性の向上を目指し、各販路に対する最適な商品・人的配置、リスクとコストを意識したサプライチェーンの再構築と適時適切な仕入販売コントロールによる在庫の最適化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の高度化・活用を含めた販売管理費のコントロールを推進しております。

中期経営計画の着実な実行の下、当社グループにおいては、比較的天候に恵まれ、春夏物の各販路における販売が好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、商品価格の一部見直し・プロパー販売の促進等が奏功し、売上総利益及び売上総利益率も前年同四半期を上回りました。

その結果、連結売上高は38億58百万円（前年同四半期比18.9%増）、連結営業利益は5億44百万円（前年同四半期比25.3%増）、連結経常利益は5億20百万円（前年同四半期比18.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億25百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ①身の回り品事業

身の回り品事業につきましては、堅調な個人消費、旺盛なインバウンド需要を背景に、比較的天候に恵まれ、春夏物の各販路における販売が好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。商品価格の一部見直し・プロパー販売の促進等の販売施策を推進することにより、円安の進行等による仕入価格の上昇も吸収し、セグメント利益も前年同四半期を上回りました。

洋傘部門につきましては、比較的天候に恵まれ、パラソルマーケットが活況を呈したこと、専門店マーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチの強化も奏功し、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

洋品部門につきましては、コロナ禍以降の売場等の縮小の影響は依然残るものの、消費者ニーズ、マーケット環境を考慮したサステナブルな提案等に注力した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

帽子部門につきましては、マーケット環境全体は、外出需要の高まりもあり、コロナ禍以降の回復基調にあるものの、茲数年好調であったインバウンドを中心とした一部ブランド品の人気の剥落もあり、売上高は前年同四半期を下回りました。

毛皮・宝飾部門につきましては、毛皮リフォーム・リメイク等のサステナブルな提案、百貨店外商ルートを活用及び催事展開も注力したものの、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、身の回り品事業の売上高は37億40百万円（前年同四半期比15.3%増）、セグメント利益は5億40百万円（前年同四半期比24.4%増）となりました。

#### ②情報サービス事業

情報サービス事業につきましては、当第1四半期連結会計期間にセブンシステム株式会社を新規に連結子会社化し、業務のIT化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進ニーズの高まりを捉え、システム開発・販売、保守・メンテナンス等に注力いたしました。

その結果、情報サービス事業の売上高は1億17百万円、セグメント利益は2百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億93百万円増加して102億69百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が3億21百万円増加したこと、前渡金が1億77百万円増加したこと、現金及び預金が1億78百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ67百万円増加して48億87百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が56百万円増加したこと、及び電子記録債務が54百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億26百万円増加して53億81百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億25百万円計上したこと、及び剰余金の配当を90百万円実施したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,044,841	865,887
受取手形及び売掛金	1,745,524	2,066,838
商品及び製品	2,571,241	2,644,545
仕掛品	4,069	1,690
原材料及び貯蔵品	51,097	46,041
返品資産	434,247	301,763
その他	193,586	374,880
貸倒引当金	△8,000	△13,000
流動資産合計	6,036,607	6,288,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	819,234	832,517
土地	1,677,738	1,677,848
その他(純額)	77,582	94,076
有形固定資産合計	2,574,555	2,604,443
無形固定資産		
のれん	—	53,831
その他	302,318	326,666
無形固定資産合計	302,318	380,498
投資その他の資産		
その他	991,013	1,024,223
貸倒引当金	△28,201	△28,201
投資その他の資産合計	962,811	996,022
固定資産合計	3,839,685	3,980,963
資産合計	9,876,293	10,269,611
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	527,166	583,455
電子記録債務	235,304	289,517
短期借入金	2,200,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	23,268	23,268
未払法人税等	63,523	81,731
賞与引当金	83,212	40,807
返金負債	669,676	480,070
その他	470,045	609,413
流動負債合計	4,272,195	4,308,263
固定負債		
長期借入金	146,405	140,588
退職給付に係る負債	315,638	348,436
その他	86,527	90,552
固定負債合計	548,570	579,577
負債合計	4,820,766	4,887,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	1,183,083	1,517,993
自己株式	△126,986	△154,028
株主資本合計	4,912,303	5,220,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,050	81,091
為替換算調整勘定	54,669	66,526
退職給付に係る調整累計額	10,504	6,641
その他の包括利益累計額合計	143,224	154,258
非支配株主持分	—	7,340
純資産合計	5,055,527	5,381,770
負債純資産合計	9,876,293	10,269,611

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,244,710	3,858,391
売上原価	1,840,506	2,183,012
売上総利益	1,404,203	1,675,378
販売費及び一般管理費	969,991	1,131,339
営業利益	434,212	544,039
営業外収益		
受取利息	615	512
受取配当金	1,649	2,402
為替差益	1,266	—
不動産賃貸料	11,789	10,546
その他	1,128	1,148
営業外収益合計	16,449	14,610
営業外費用		
支払利息	4,238	4,917
為替差損	—	23,349
不動産賃貸原価	7,097	6,637
その他	389	2,908
営業外費用合計	11,725	37,812
経常利益	438,936	520,837
税金等調整前四半期純利益	438,936	520,837
法人税、住民税及び事業税	41,182	67,787
法人税等調整額	5,744	26,685
法人税等合計	46,926	94,472
四半期純利益	392,009	426,364
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	672
親会社株主に帰属する四半期純利益	392,009	425,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,225	2,954
繰延ヘッジ損益	△8,829	—
為替換算調整勘定	11,334	11,856
退職給付に係る調整額	△787	△3,862
その他の包括利益合計	3,944	10,947
四半期包括利益	395,954	437,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,954	436,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	586

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	38,010千円	38,433千円
のれんの償却額	—	2,833

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注)
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,244,710	—	3,244,710	—	3,244,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,244,710	—	3,244,710	—	3,244,710
セグメント利益	434,212	—	434,212	—	434,212

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,740,743	117,647	3,858,391	—	3,858,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	60	60	△60	—
計	3,740,743	117,707	3,858,451	△60	3,858,391
セグメント利益	540,184	2,357	542,542	1,497	544,039

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、セブンシステム株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては56,665千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「衣服装飾品」、「身の回り品」の区分から、「身の回り品事業」「情報サービス事業」に報告セグメントを変更しています。この変更は従来の「衣服装飾品」の主たる取扱品である毛皮の継続的なマーケットの縮小と、低価格化の進行により、「身の回り品」との販路・販売形態の区別が無くなってきていることから、両セグメントを一体としてより実態に合わせた経営管理を行うことを目的とするものです。

また、当第1四半期連結会計期間にセブンシステム株式会社を新規に連結子会社化したこととともない、「情報サービス事業」を新しい報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

## (企業結合等関係)

## 株式取得による子会社化

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 セブンシステム株式会社

事業の内容 システム開発・販売、保守・メンテナンス等

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループ事業の強化を通じた更なる企業価値向上が期待できるため。

## (3) 企業結合日

2024年4月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

61.6%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得により、セブンシステム株式会社の議決権の61.6%を取得したためであります。

## 2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2024年4月1日から2024年6月30日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	67,500千円
取得原価		67,500千円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 880千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

56,665千円

なお、発生したのれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	220,155千円
固定資産	103,432
資産合計	323,587
流動負債	77,016
固定負債	228,982
負債合計	305,998

## 7. のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び種類別の内訳並びに償却期間

該当事項はありません。